

2019 B 日程 LS [0819]

受験番号

2018 年度秋入学・2019 年度春入学 甲南大学法科大学院

一般入学試験問題

専門論文試験

民事訴訟法・刑事訴訟法

(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法、刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

〈問題〉

以下の〔設問1〕、〔設問2〕、〔設問3〕に答えなさい。

〔設問1〕

裁判上の自白によって裁判所と当事者に対して生じる拘束力について説明しなさい。

〔設問2〕

訴訟の移送について説明しなさい。

〔設問3〕

弁護士代理の原則について、簡潔に説明しなさい。

専門論文試験 刑事訴訟法

《問題》

以下の各〔設問〕に答えなさい。なお、条文または判例に従うものとします。

〔設問 1〕

警察官が、車で逃げた銀行強盗犯を発見するため、公道を走る自動車を停止させて質問をする法的な根拠とその限界について説明しなさい。

〔設問 2〕

捜索差押許可状の執行手続について説明しなさい。

〔設問 3〕

違法収集証拠排除法則に関する判例の立場について説明しなさい。